

# 開会のあいさつ

第53回全国学校体育研究大会岐阜大会

実行委員会会長 杉山 英一

みなさん、おはようございます。ようこそ、岐阜へお越しいただきました。本日は、素晴らしい天気になりました。県内はもとより、全国各地から1,700名を超える学校体育に携われておられる先生方やスポーツ関係者の皆様が、この長良川国際会議場に集まっていただきました。第53回全国学校体育研究大会岐阜大会が盛大に開催できますことを、大変喜んでおります。

本席にはご多用の中、ご来賓としまして岐阜県副知事 高原 剛 様、岐阜市副市長 浅井文彦様にご臨席を賜りました。厚く御礼申し上げます。また、主催者として文部科学省スポーツ・青少年局体育参事官 日向信和 様、公益財団法人日本学校体育研究連合会会長 本村清人 様はじめ、たくさんの大会役員の皆様方にもご臨席を賜りました。ありがとうございます。

さて、岐阜県でこの全国大会が開催されますのは、48年ぶり2回目でございます。平成21年に岐阜県開催が決定し、そのあと地道にはありますが今日に向けて準備を進めて参りました。大会の主題である「生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む資質や能力を育てる体育授業」を掲げまして、幼稚園から小・中・高等学校、特別支援学校、5校種にわたってそれぞれの研究組織が頑張って取り組んできました。また、各研究組織が横の連携を深め協力しながら、さらには県内の大学の先生方にもご指導を仰ぎながら、本日の開会にこぎ着けることができました。私は、この研究大会を開催するに当たって、本県のそれぞれの研究組織が充実できたこと、相互において連携が図れ、本県の学校体育の研究体制がさらに発展できたことを財産として、ありがたく思っているところでございます。本大会が終わっても、この財産を生かしながら校種間の交流を進め、教科体育・保健体育のさらなる授業改善や研究等が発展することを期待しております。

本日、開会式が終わりますと、表彰式がございます。学校体育の発展に寄与された学校、そして功労者の皆様方およそ250名近くと伺っておりますが、受賞される皆様方、本当におめでとうでございます。その後、基調報告といたしまして私たちが本研究に取り組んできた考え方や手法等の説明をさせていただきます。その他、高田調査官による学習指導要領の解説、午後にはシンポジウム、そして特別講演があります。特別講演の講師は、岐阜県と言えばQちゃんこと、高橋尚子さんでございます。スポーツの魅力を大いに語っていただけるものと楽しみにしております。今日の1日はスポーツを多角的に眺めていただき、その中で学校体育がどうあるべきか、どんな役割を果たすべきなのかを再認識していただければと思っております。また、明日の2日目は天気も上々のようで、5校種12会場で分科会が開催されます。各学校共にこの発表会に向けて一生懸命取り組んで参りました。私は各会場で、岐阜県の子供たちが明るく元気で授業に取り組む姿、そして各学校の特色ある学校づくりがどのように進められているか、そんなところをご覧いただけたら幸いに存じます。

最後になりますが、この全国大会を開催するに当たりまして、文部科学省、公益財団法人日本学校体育研究連合会、岐阜県教育委員会、各会場を担当していただきました岐阜市、羽島市、各務原市の教育委員会、そして、ご協賛をいただきました会社・企業の皆様方、さらには本県の実行委員会、運営スタッフの皆様方に深く感謝を申し上げ、私の開会のあいさつとさせていただきます。